

会 の 趣 旨

これからの算数・数学教育を考える会は、京都府・市を中心に全国の方々と、算数・数学教育のあり方について議論・交流する会です。

日頃の学校現場での算数・数学の授業実践を持ち寄り、指導の改善につなげたり、新しい教育内容・方法の考案・検証を行っていくことを目的としています。

算数・数学教育に関心のある先生、教員を目指す学生・高校生、一般の方々のご参加をお待ちしています。

日時

2022年 2月 4日 (金)

18:30 ~ 19:30 事例発表

19:30 ~ 20:00 教育最新事情

プログラム Zoomを利用したオンライン開催

18:30~19:00 事例発表 1

1年間のハイブリッド型数学授業で見た成果と課題
葛城 元 (京都教育大学附属高等学校 教諭)

19:00~19:30 事例発表 2

小学校5年生を対象とした「円と正多角形」の作図指導におけるロイロノート活用

田口 加奈子 (京都市立修学院小学校 教諭)

19:30~20:00 教育最新事情

算数動画とテキストを用いたOJTによる若手教員研修

黒田 恭史 (京都教育大学教育学部数学科 教授)

対象 小・中・高等学校教員、学生、一般 **定員100名**

申込先

URL(QRコード)にアクセスして

お申し込みください。 **申込締切：1月27日**

<https://forms.gle/jWEBYcFPKM8XjLS19>

問い合わせ

黒田恭史 (京都教育大学)

ykuroda@kyokyo-u.ac.jp

※参加申し込みができない場合は、上記の問い合わせ先までご連絡ください。

※第14回以降の発表者も、随時受け付けておりますのでご連絡ください。

第
13
回

「これからの
算数・数学教育を考える会」

